



「こんにちは 市長です」

1月15日号

「関東平野はここからはじまる」こことは言わずと知れた『太田』のことです。昨年暮れ、金山に登った。建設中の強戸インターを視察したとき、ネクスコ東日本の所長と意見が一致したのが「関東平野は太田からはじまる」だった。八王子山よりも金山の方がこの感が強い。

暮れの31日「こんなにお天気がいいのにもったいない」、呑龍様から金龍寺、金山ガイドンス、このコースを選んだ。冷気を含んだ心地いい空気を吸いながら、なだらかな斜面を楽しんだ。万人向きコースだと思う。東山から水道山を通過して御城橋、そして金山の山頂を南から攻めるルートがある。子どもの頃はこの道を登った。頂上手前がなんともきつい。今の私にはとても無理だ。楽なコースとはいえ尾根にまでたどり着いたときにはかなりヘトヘトになっていた。見晴らし台の上に立つ。眼下は遮るものもなく、どこまでも南へと拡がっている。まさに「関東平野は太田からはじまる」のである。「不落の城」と言われる山城、尾根の平たん部はこれこそ興味深い。あちこちに色んな仕掛けがある。これじゃあ大人数で城攻めなんて絶対できない。

山城大好きという春風亭昇太さん（笑点司会者）、ときどき金山に来ているみたいだ。どうしたら金山城を落とせるか、何度来ても攻略方法が見つからない「また来なくちゃ」ということになるのではないか。年が明けて3日にも出掛けたが昇太さんは見かけなかった...

金山の麓に「史跡金山城跡ガイドンス施設」がある。そこに「不落の城」の御城印がある。落ちないのだ。神社やお寺さんにもご利益あると思うけど、ガイドンスの「不落の城」は受験生にはお勧めだ。私も買ってきました。（1/4記）